

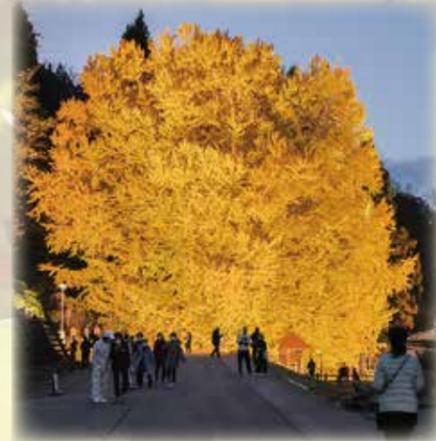
“日本一”今年も黄金色に輝く



幹回り約22m、樹高約31m、樹齢1,000年を超える北金ヶ沢の大イチョウ。垂乳根のイチョウとも呼ばれており、乳房のように垂れ下がる気根に触れると母乳の出が良くなると言われ、地域に親しまれています。

11月15日から12月3日にかけて北金ヶ沢の大イチョウのライトアップが行われ、神秘的な美しさと圧倒的な大きさに魅了されていました。

15日18時から点灯式が行われ、全員お揃いの黄色いニット帽とレインコートを羽織った修道小学校の児童17人が参加しました。点灯式は、まだ緑色のイチョウが多かったですが、パッとライトに灯されたイチョウは幻想的で雄大な姿を見せてくれました。また、点灯式に併せて、「幸せの黄色いスूप」が来場者全員へ振舞われ、受け取った来場者たちの身体を温めました。



昼のイチョウと



夜のイチョウ